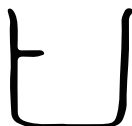


# 理科 (状態変化するときの体積と質量)

A



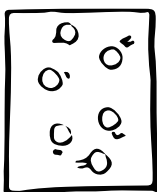
①



B



C



液体のロウ(A)を冷やして固体にすると①(左図に)になる。このとき、  
質量は②\_\_\_\_\_、体積は③\_\_\_\_\_、密度は④\_\_\_\_\_。

だから、液体のロウに固体のロウを入れると⑤\_\_\_\_\_。

また、ポリエチレンぶくろに入った液体のエタノール(B)にお湯をかけると、  
ぶくろは⑥\_\_\_\_\_。それは、液体だったエタノールが⑦\_\_\_\_\_になって体積が

⑧\_\_\_\_\_からなんだ!

つまり、(液)→(気)にすると体積が⑨\_\_\_\_\_、(液)→(固)にすると体積が⑩\_\_\_\_\_、

密度が⑪\_\_\_\_\_んだ。ちなみに質量は⑫\_\_\_\_\_!

ただ、水の場合、(液)→(気)にすると体積が⑬\_\_\_\_\_ (約⑭\_\_\_\_\_倍)、

(液)→(固)にすると、体積が⑮\_\_\_\_\_、密度は⑯\_\_\_\_\_ので、氷は水に⑰\_\_\_\_\_。

Cのようなモデルで状態変化を表すとき、粒子の数は⑱\_\_\_\_\_!!